



上板橋第四小学校 令和8年度

第3回コミュニティ・スクール委員会だより

令和8年10月6日
上板橋第四小学校
校長 山藤 知子
CS委員長 平山 志保

第3回 会合の報告

上板橋第四小学校の令和8年度第3回コミュニティ・スクール委員会が、9月29日（火）の3校時の授業参観後に引き続き、午前11時35分から本校ランチルームで行われました。

本年度の委員の皆様

《地域委員》

伊藤 恵美	委員	(PTA会長)
望月 治	委員	(上板橋一丁目町会顧問)
木下 奉章	委員	(上板橋二丁目前会長、青健顧問)
平山 志保	委員	(地域コーディネーター)
下竹 敬史	委員	(さくら保育園長)
栂山 和人	委員	(元PTA会長)
島村 恵子	委員	(主任児童委員)
徳重 弘樹	委員	(元PTA役員、教育関係企業)
田中 亜由美	委員	(上四小あいキッズ責任者)

《行政委員》

山田 綾子	委員	(中央図書館長)
辰口 信子	委員	(上板橋保育園長)
増田 伸吾	委員	(常盤台地域センター所長)

校長挨拶

5日間の連休後、2日間の登校を経ての本日の授業でしたが、子どもたちは落ち着いており、2学期も良いスタートが切れたと考えています。

本日は来年度の開校95周年に向けた熟議も予定されています。どうぞよろしくお願いいたします。

CS委員長挨拶

3時間目の授業参観で、学校内をすべて回らせていただきました。年度当初と比べますと、子どもたちの成長が見られ、クラスがまとまってきたなど強く感じています。クラスによってそれぞれ違いや特色はあるものの、確実に1歩ずつ前進していると思いました。

本日もよろしくお願いいたします。

2学期の学校経営について

【2学期の主な行事】

※資料を基に説明しました。

【学校経営目標の具現化について】

昨年度に皆様と熟議を重ねて決定した新たな3つの教育目標（「自ら考え創り出す子」「認め合ってつながる子」「しなやかにのびゆく子」）について、4月の段階で子どもたちとも共有しました。2学期は、この目標が子どもたちの具体的な姿として表れるよう、教員が常に意識して指導に当たってまいります。

【今後の指導方針】

行事を通して、子どもたちが試行錯誤しながら「答えのない課題に対して、相談しながらベターな解決策を生み出す力」を育てていきます。また、「わかる・できる・楽しい授業」の提供に向けた研修の強化や、専門家と連携した一人ひとりの個性に合わせた特別支援教育の充実をしっかりと進めてまいります。

1学期の学校アンケートの結果について

【保護者アンケート】

概ね良い回答をいただいておりますが、「学校からの情報発信が足りていない（持ち物の事前周知不足、ホームページ掲載の遅れ、タイムリーでない更新など）」という課題が見えてきました。2学期は情報発信をさらに充実させていきます。

【児童アンケート】

こちらも前向きな結果が出ています。子どもが「やってみたい」と思える授業の導入の工夫や、教員が子どもの前向きなエネルギーをさらに高められるような声掛けを行っていきます。また、子どもの自己肯定感・自己有用感を高めるため、良い所を見逃さず、見つけた時にはすかさず価値付けて褒め、全体に広げる指導を継続していきます。

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果について

国語・算数の2教科、および生活状況に関する「質問紙調査」の3つを実施しました。(詳細な資料は9月の学校だよりで配布済みです。)

平均正答率は全国平均を上回るか、ほぼ同等の結果となっています。

無回答率は低いものの、「思考・判断・表現」や「記述式問題(表現力)」に課題が見られます。3年生以上で実施している少人数算数などで、自分の考えをノートに書き、友達に伝えて共有する話し合い活動をさらに強化していきます。

質問紙調査では、「学校に行くのが楽しい」「自分には良いところがある」「将来の夢や目標がある」といった項目が、他地域に比べて高く出ています。

しかし、「いじめはどんな理由があってもいけないか」という問いに対しては、「いけない」と答えた割合が全国・東京都平均に比べて数ポイント低くなっています。ここは1ポイントでも高められるよう、しっかりと取り組んでいきたいところです。2学期に道徳や学級活動の時間でいじめ防止の授業を計画的に行います。また、子どもたちが「こんなことを言ったら笑われるのではないか、馬鹿にされるのではないか」という不安を抱く雰囲気ではなく、「何を言っても安心して受け止め合える雰囲気」の学級づくり」に重点的に取り組んでいきます。

また、本結果を基にした「授業改善推進プラン」を学校ホームページに公開しています。

熟議「開校95周年の行事のあり方について」

【提案】

来年度、本校は開校95周年を迎えます。周年行事は10年単位で行うと、在学中に一度も周年行事を経験できない子どもたちが出てきてしまいます。そのため、来年度の開校95周年でお祝いの取組をしたいと考えています。

開校95周年では、子どもたち主体でできる取組を検討しています。例えば、95周年のキャラクター作り、歌の制作、動画制作、集会の実施などが考えられます。大々的な実行委員会を今すぐ立ち上げるのではなく、まずは「こんなことをやったら面白いのではないか」というアイデアや、PTA・地域の皆様のお力添えについてご意見をいただきたいと考えています。

【熟議で出た意見】

- 来年度行われる展覧会を、開校95周年記念をテーマにして企画していく。
- 開校100周年が意識できるよう、カウントダウンカレンダーの掲示等工夫した取組を行う。
- あいキッズと連携し、あいキッズで活躍している子どもたちが教室でも活躍できるよう、共通したイベントを企画する。
- 開校95周年記念児童集会の開催。
- 記念品を作る。
- 子どもたちが企画し、思い出や形として残せるものがよい。
- 5年ごとに開校を祝う仕組みやルールをつくり、今後に生かせるようにする。
- 風船飛ばし、記念写真、かみよん音頭等の取組。
- かみよんの歴史を知る。
- 学校のお誕生の作品作り。

—— 今後の予定 ——

- ①10月24日(土) 運動発表会
- ②11月28日(土) 音楽発表会
- ③12月1日(火) 第4回CS委員会
14:10～ランチルーム
(5校時授業参観後)
- ④2月8日(月) 第5回CS委員会
15:00～ランチルーム
(6校時授業参観後)

～ 熟議のひと幕 ～



今回は給食をいただきました。

文責：委員長 平山、副校長 高橋